

2018年3月期 第3四半期 決算ハイライト



 **リそなホールディングス**
RESONA

2018年1月31日

2018年3月期 第3四半期(累計)決算の概要

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益:2,027億円

- 前同比+729億円(+56.1%)
 - 関西3行経営統合に伴う税務影響(715億円)除き1,312億円
 - ・ 通期業績目標(中間期公表:1,650億円)対比進捗率79%
- ⇒ 通期業績目標(親会社株主に帰属する当期純利益)を2,350億円へ上方修正(中間期公表比+700億円)

■ 実質業務純益:1,534億円

- 業務粗利益:4,081億円、前同比△142億円(△3.3%)
 - ・ 国内預貸金利益:前同比△150億円、計画どおり
利回り差:前同比△9bp、貸出金平残:+1.84%
 - ・ フィー収益:前同比+27億円、フィー収益比率29.4%
法人ソリューション収益が全体を牽引
 - ・ 債券関係損益(先物込):前同比△132億円
- 経費:△2,549億円、前同比+18億円(経费率62.4%)

■ 収益・コスト構造改革が着実に進展

■ 3つのオムニ戦略が順調に進捗

- 非接触デビットカードの標準化、即時発行を10月から開始、2月には新スマート口座アプリをリリース予定
- オムニ・アドバイザーの育成進展により、収益機会を着実に拡大
- 関西3行経営統合が計画どおりに進捗

HD連結(億円)	2018/3期 1-3Q			'18/1公表 通期 業績目標
		前年 同期比	増減率	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (1)	2,027	+729	+56.1%	2,350
業務粗利益 (2)	4,081	△142	△3.3%	
資金利益 (3)	2,750	△41		
うち国内預貸金利益 *1 (4)	2,166	△150		
フィー収益 (5)	1,200	+27		
フィー収益比率 (6)	29.4%	+1.6%		
信託報酬 (7)	137	+3		
役務取引等利益 (8)	1,063	+24		
その他業務粗利益 (9)	130	△129		
うち債券関係損益(先物込) (10)	△5	△132		
経費(除く銀行臨時処理分) (11)	△2,549	+18	+0.7%	
経费率 (12)	62.4%	+1.6%		
実質業務純益 *2 (13)	1,534	△121	△7.3%	
株式等関係損益(先物込) (14)	133	+118		
与信費用 (15)	132	△83		
その他の臨時・特別損益 (16)	△130	△66		
税金等調整前 四半期純利益 (17)	1,670	△153	△8.4%	
税金費用等 (18)	357	+883		
1株当たり四半期純利益 (EPS、円) (19)	86.76	+32.72		
1株当たり純資産 (BPS、円) (20)	904.49	+144.99		

*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む)

*2. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

*3. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		銀行			うち	連単差	
		前年 同期比		前年 同期比	りそな 銀行	埼玉 りそな 銀行	近畿 大阪 銀行	保証子会社 再編影響	(保証子会社 再編影響除き)	前年 同期比
業務粗利益 (1)	4,081	△142	3,792	△93	2,529	909	354	49	338	+0
資金利益 (2)	2,750	△41	2,766	+9	1,741	747	277	49	33	△0
うち国内預貸金利益 (3)			2,166	△150	1,374	593	198			
信託報酬 (4)	137	+3	137	+3	137				△0	△0
役務取引等利益 (5)	1,063	+24	764	+23	536	160	68		298	+1
その他業務粗利益 (6)	130	△129	124	△128	114	1	8		6	△0
うち債券関係損益(先物込) (7)	△5	△132	△5	△132	5	△17	6		-	-
経費(除く銀行臨時処理分) (8)	△2,549	+18	△2,408	+24	△1,582	△549	△276		△140	△5
実質業務純益*1 (9)	1,534	△121	1,384	△68	947	359	77	49	200	△3
株式等関係損益(先物込) (10)	133	+118	662	+648	503	135	23	529	0	△0
与信費用 (11)	132	△83	150	△33	104	30	15		△18	△50
その他の臨時・特別損益 (12)	△130	△66	△112	△51	△83	△19	△8		△18	△15
税引前(税金等調整前) 四半期純利益 (13)	1,670	△153	2,086	+494	1,471	505	109	579	163	△68
税金費用等 (14)	357	+883	△309	+136	△170	△112	*2 △27	*3 141	*2 667	+746
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益 (15)	2,027	+729	1,776	+630	1,300	393	81	720	830	+678

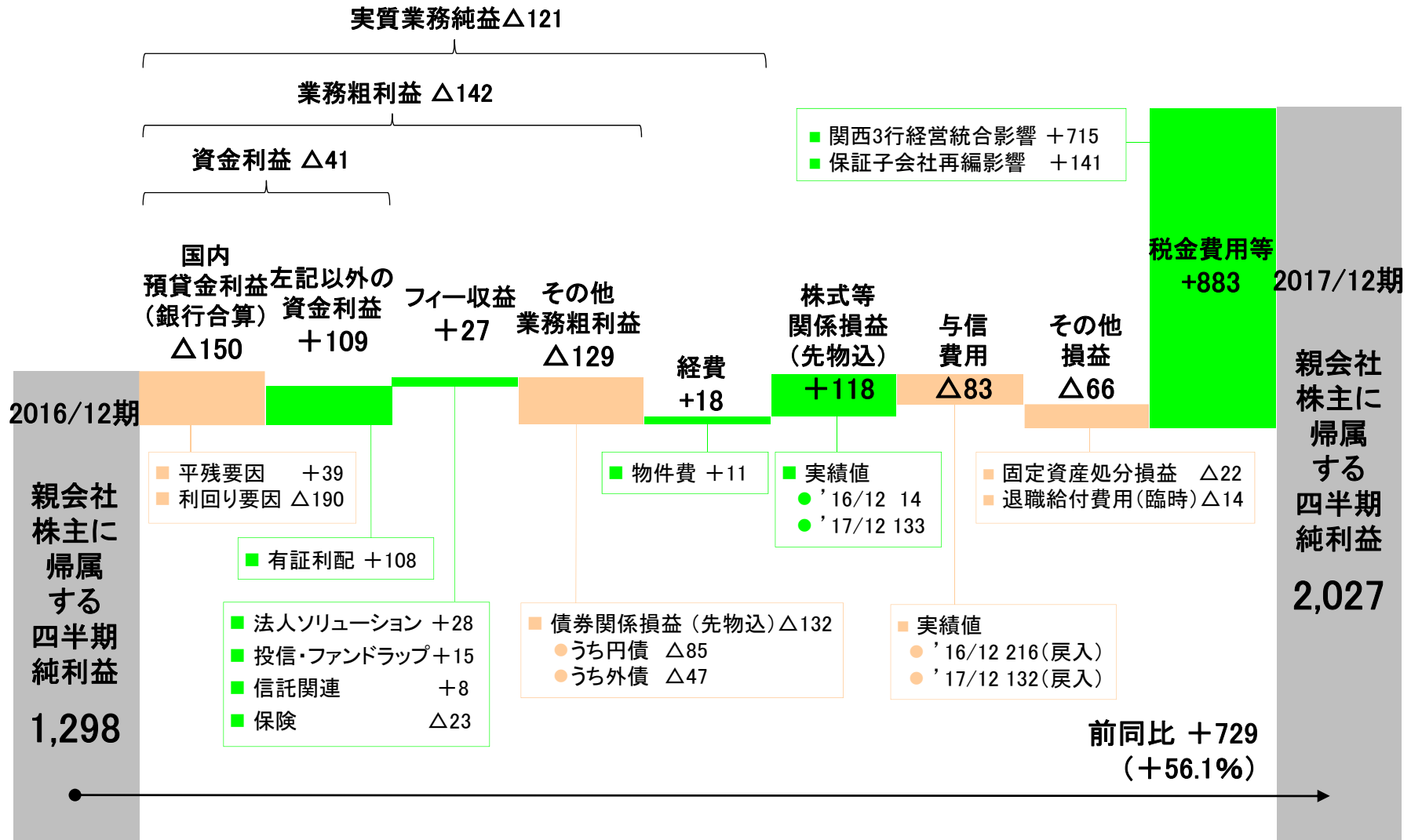
*1. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

*2. 関西3行経営統合影響を含む

*3. 保証会社再編影響については、税金費用は連結消去対象外

期間損益の前年同期比増減要因

(億円)



貸出金・預金の平残・利回り

銀行合算

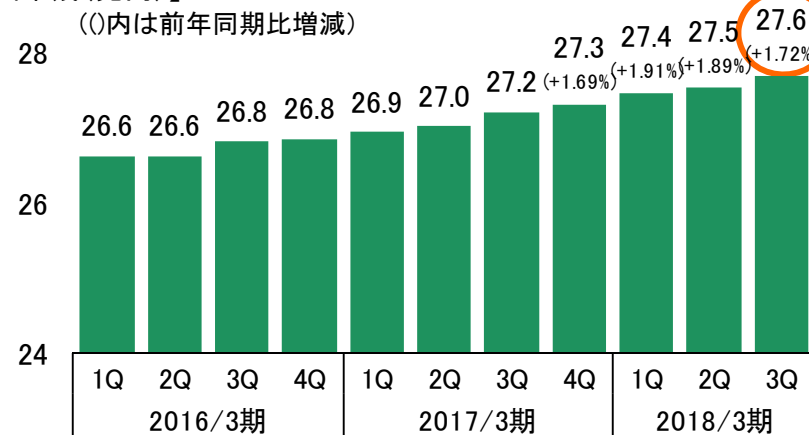
貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

(平残:兆円、収益・費用:億円)			1-3Q		2018/3期	
			実績	前同比	計画*3	前期比
貸出金平残(銀行勘定) (1)			28.05	+1.80%		
国内	貸出金	平残 (2)	27.55	+1.84%	27.51	+1.47%
		利回り (3)	1.06%	△0.09%	1.05%	△0.08%
		収益 (4)	2,205	△150	2,910	△198
	コーポレート部門(公共除)*1	平残 (5)	16.08	+2.51%	16.02	+1.83%
		利回り (6)	0.89%	△0.10%	0.87%	△0.09%
	コンシューマー部門*2	平残 (7)	10.48	+0.83%	10.53	+1.08%
		利回り (8)	1.36%	△0.07%	1.36%	△0.07%
	預金+NCD	平残 (9)	41.55	+5.30%	41.04	+3.48%
		利回り (10)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
		費用 (11)	△39	+0	△52	△1
	預貸金	利回り差 (12)	1.04%	△0.09%	1.04%	△0.08%
		利益 (13)	2,166	△150	2,858	△199

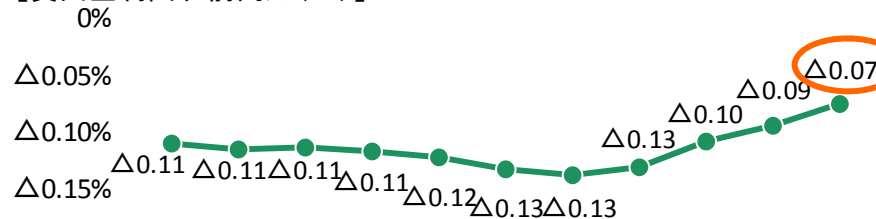
*1. 社内管理計数、コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン
 *2. 社内管理計数、コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン
 *3. 2017年11月に策定した通期計画

貸出金平残、預貸金利回り推移(国内・四半期毎)

【貸出平残(兆円)】



【貸出金利回り 前同比(%)】



【利回り】

(%)	2016/3期				2017/3期				2018/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
貸出金	1.30	1.29	1.26	1.24	1.18	1.15	1.12	1.11	1.07	1.06	1.05
預金・NCD	0.03	0.03	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
預貸差	1.27	1.25	1.23	1.22	1.16	1.14	1.11	1.10	1.06	1.04	1.03

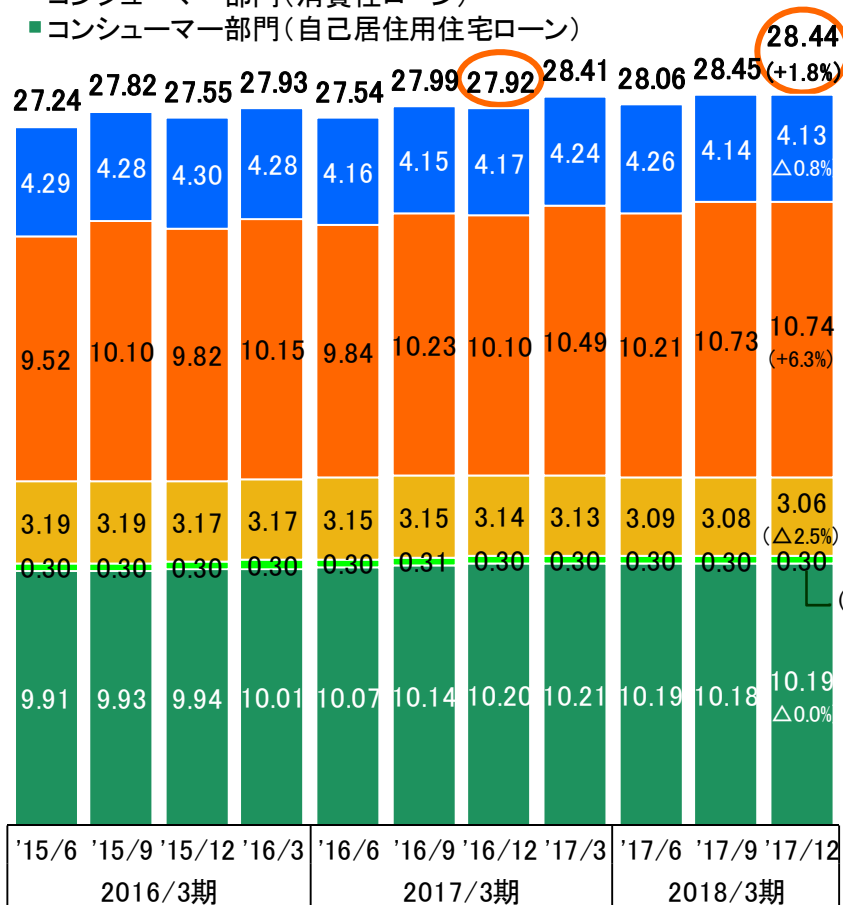
貸出金・預金末残

銀行合算

貸出金末残

兆円、()内は
前年同期比増減率

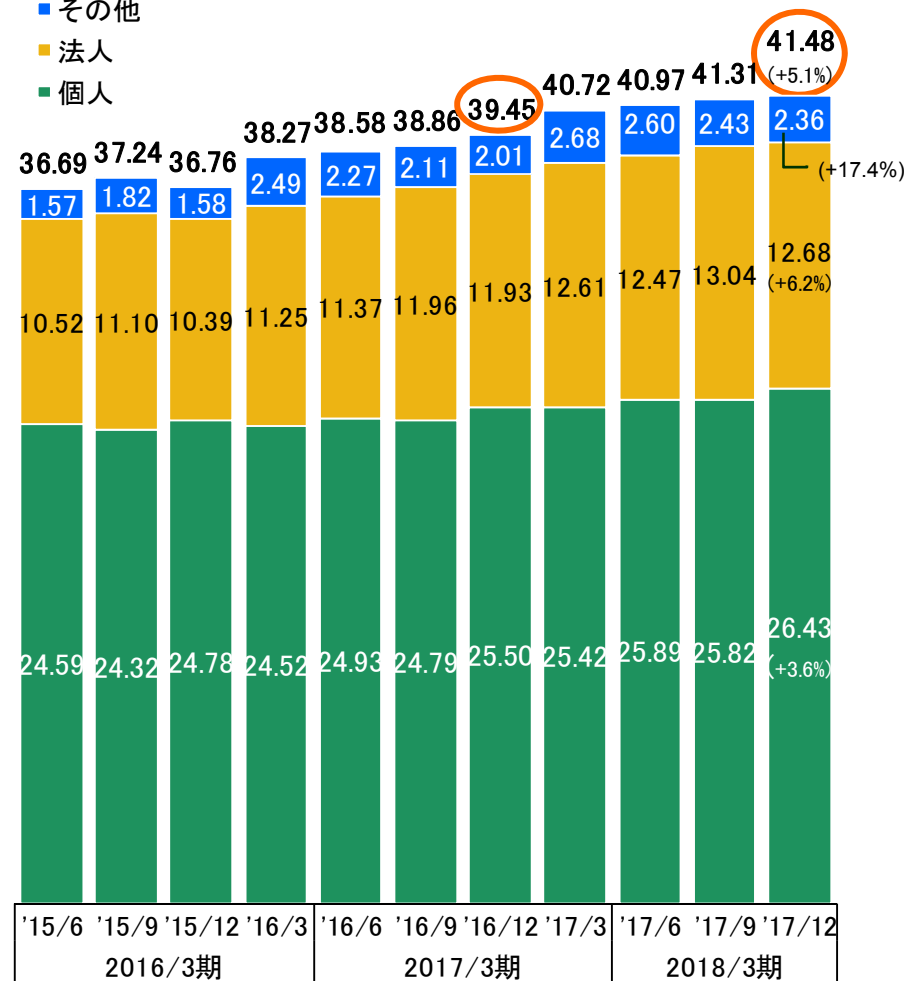
- コーポレート部門(その他大企業等)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)



預金末残

兆円、()内は
前年同期比増減率

- その他
- 法人
- 個人



*1. リソナ銀行からリソナホールディングスへの貸出を含む

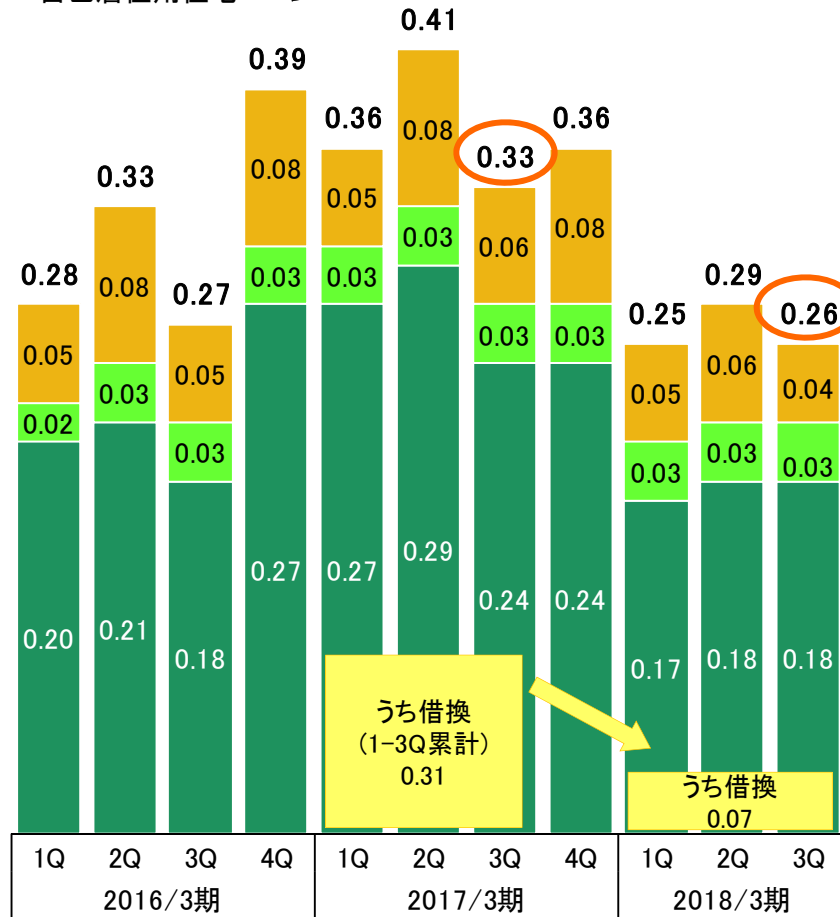
住宅ローンビジネス

銀行合算

住宅ローン実行額

(兆円)

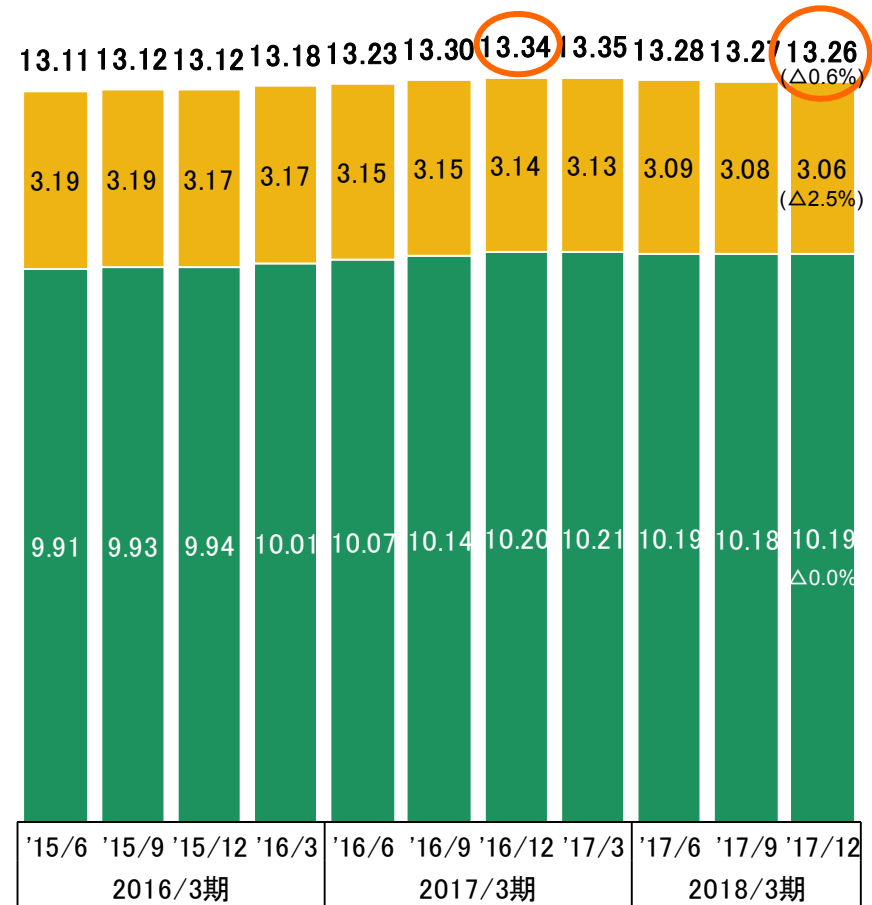
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



住宅ローン末残

兆円、()内は前年同期比増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン

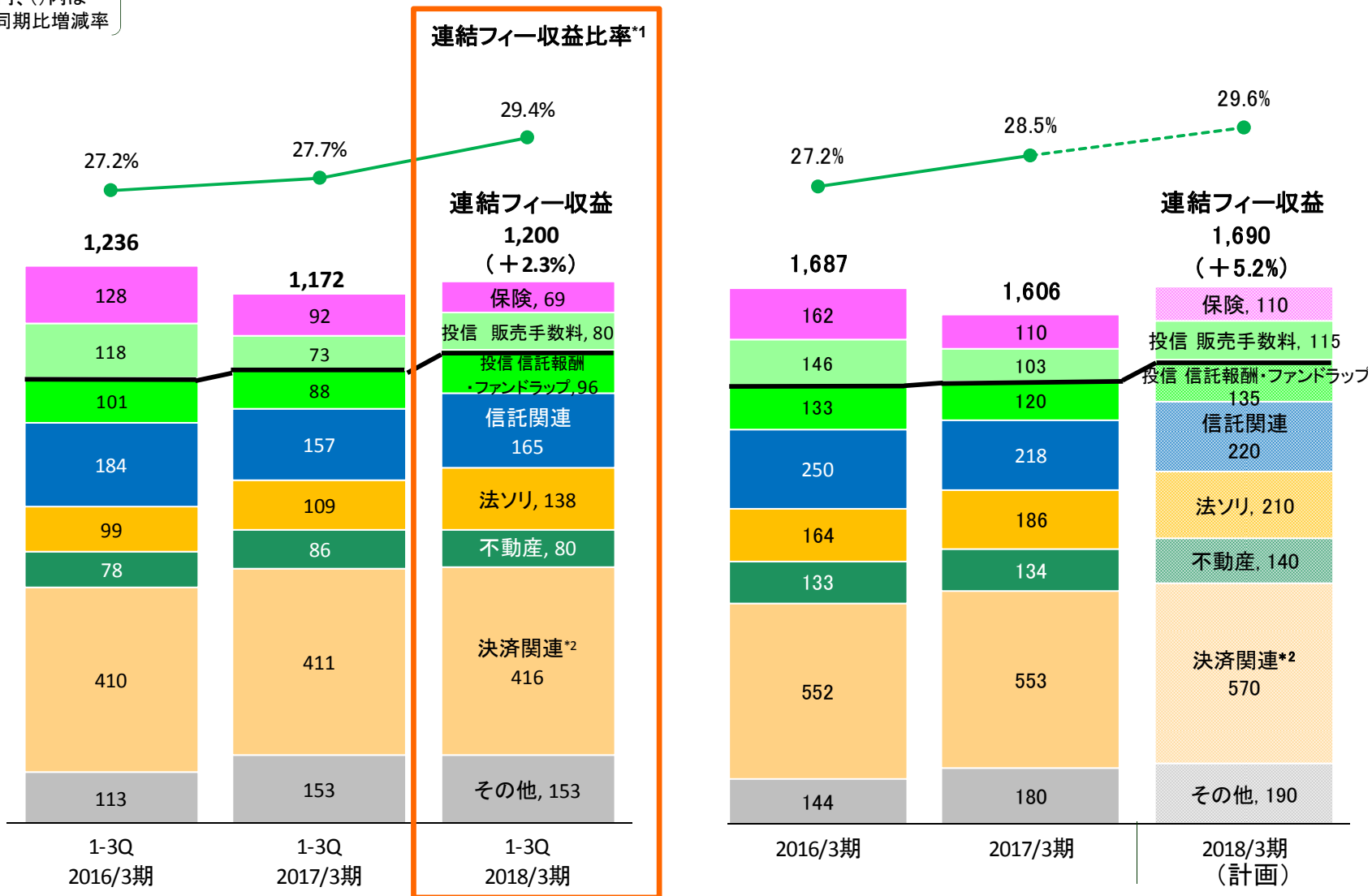


フィー収益の推移

HD連結

2018/3期第3四半期の連結フィー収益比率は29.4%

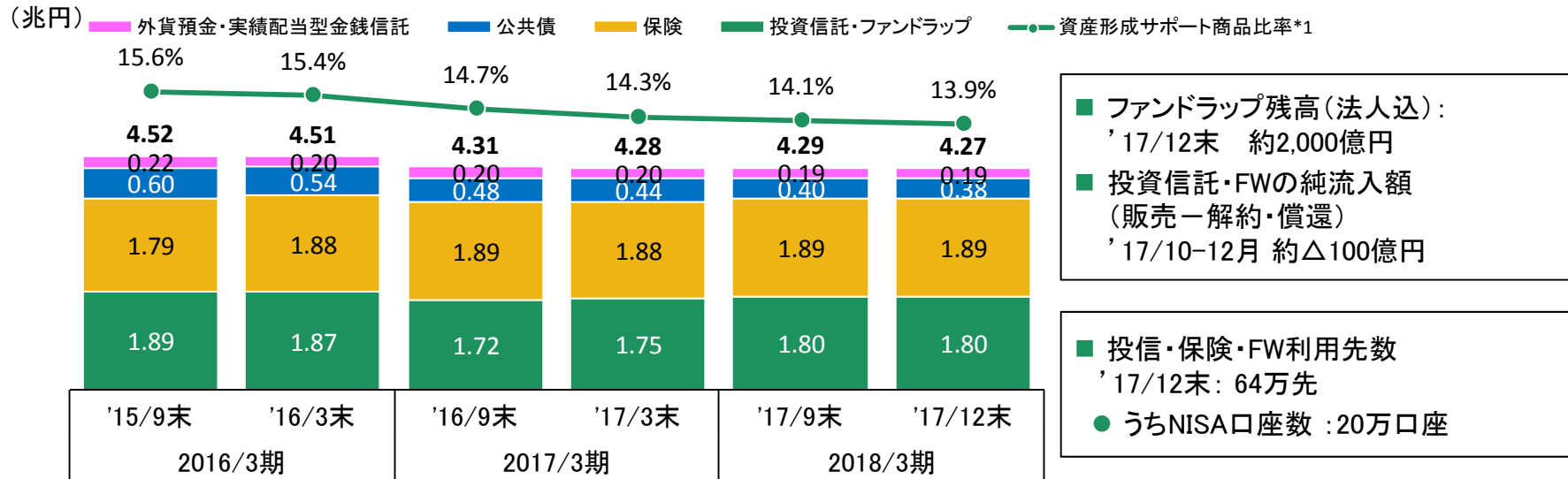
億円、()内は
前年同期比増減率



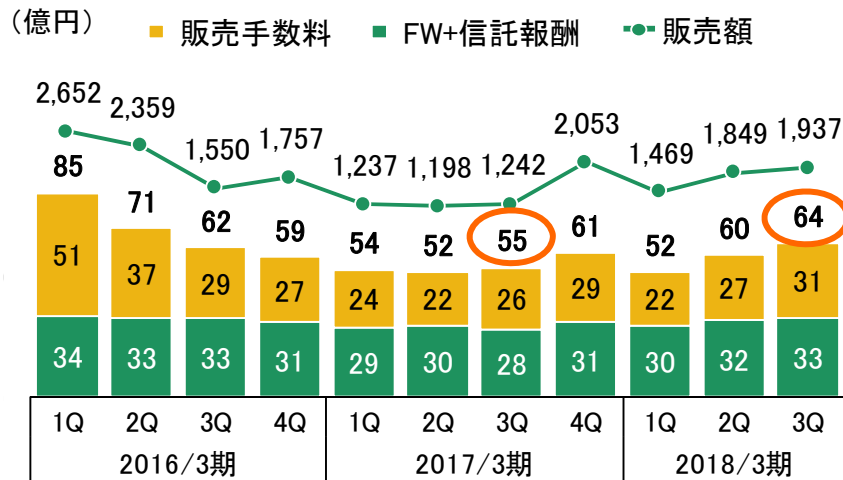
*1. (役務取引等利益+信託報酬) / 業務粗利益

*2. 内為、口振、EB、VISAデビットおよびりそな決済サービス(株)、りそなカード(株)の役務利益

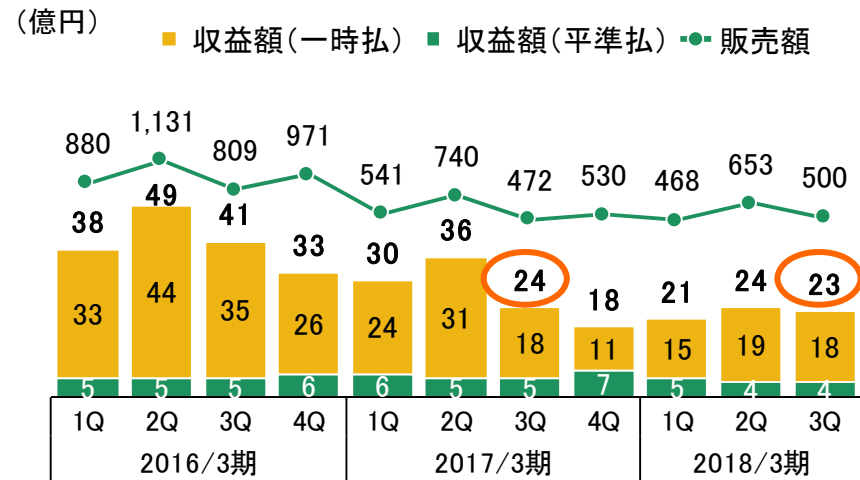
個人向け資産形成サポート商品残高



投資信託・ファンドラップ



保険



*1. 資産形成サポート商品比率=個人向け資産形成サポート商品残高/(個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金(円貨))

*2. 社内管理計数

与信費用、不良債権

HD連結・銀行合算

与信費用

(億円)	'16/3期	2017/3期		2018/3期	
		1-3Q (9ヵ月)	実績	1-3Q (9ヵ月)	計画
HD連結 (1)	△258	216	174	132	△30

銀行合算 (2)		△234	184	182	150	5
一般貸倒引当金 (3)	△0	89	98	51		
個別貸倒引当金等 (4)	△234	95	84	99		
新規発生 (5)	△439	△133	△199	△123		
回収・ 上方遷移等 (6)	204	228	283	223		

連単差 (7)		△23	32	△7	△18	△35
うち、住宅ローン保証 (8)	26	27	20	12		
うち、りそなカード (9)	△18	△16	△21	△19		

<与信費用比率(年率)> (bps)

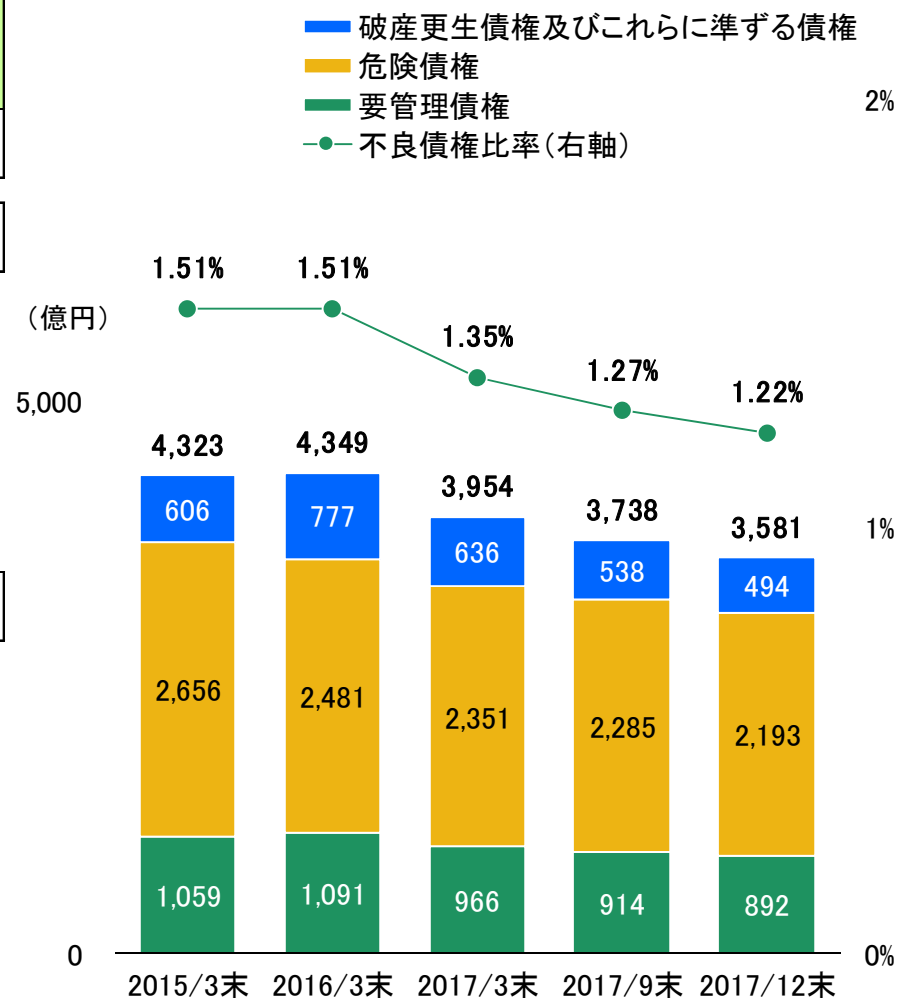
HD連結*1 (10)	△9.2	10.2	6.1	6.1
銀行合算*2 (11)	△8.2	8.5	6.3	6.8

*正の値は戻入を表す

*1. HD連結与信費用/(連結貸出金+連結支払承諾見返末残) (期首・期末平均)
*2. 銀行合算与信費用/金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

不良債権残高・比率の推移(銀行合算)

(金融再生法基準)

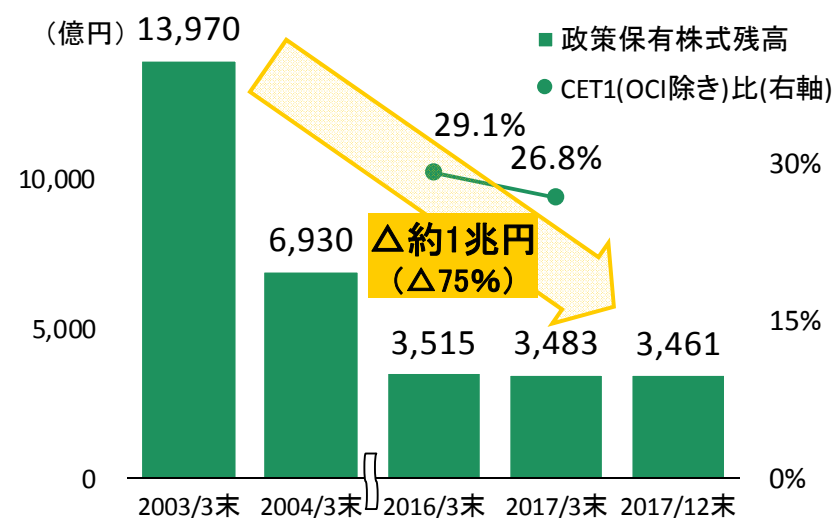


有価証券*1

(億円)		2017/3末	2017/9末	2017/12末	評価差額
その他有価証券	(1)	24,033	22,896	23,470	7,136
株式	(2)	3,483	3,465	3,461	7,199
債券	(3)	14,318	12,481	12,538	△9
国債	(4)	5,441	2,932	2,195	△27
(デュレーション)	(5)	7.0年	10.8年	8.9年	-
(BPV)	(6)	△3.8	△3.1	△1.9	-
地方債・社債	(7)	8,876	9,548	10,343	18
その他	(8)	6,231	6,949	7,469	△53
外国債券	(9)	2,580	3,744	3,907	△88
(デュレーション)	(10)	9.2年	9.2年	8.5年	-
(BPV)	(11)	△2.2	△3.3	△3.2	-
(評価差額)	(12)	5,554	6,033	7,136	
満期保有債券	(13)	22,777	21,761	20,931	550
国債	(14)	17,711	16,836	16,065	436
(評価差額)	(15)	674	576	550	

政策保有株式

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 5,600円程度
- 2017/12期 削減額(上場分・取得原価): △22億円
売却益(同): 46億円
- 政策保有株式*1に関する方針の概要
 - 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
 - 引き続き、保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンの検証により判断し、中期的に普通株式等Tier1*2比「10%台」に削減方針
 - 2017/3期からの5年間で350億円程度の削減を計画

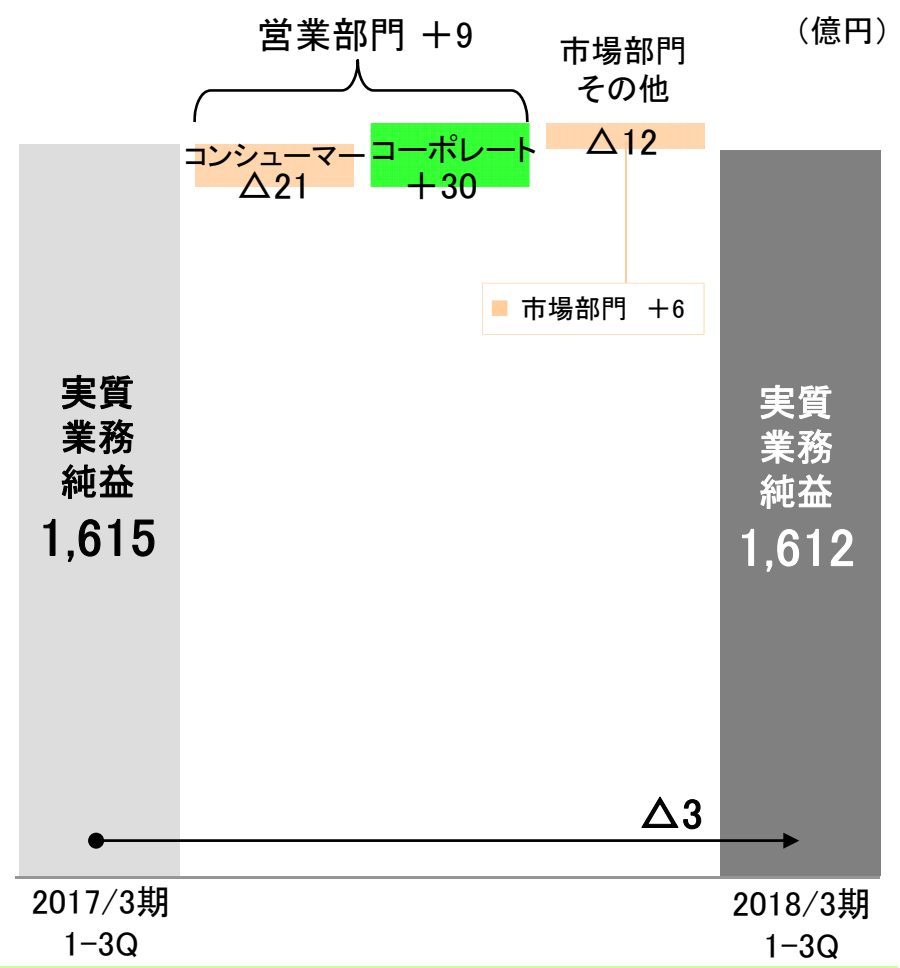


*1. 取得原価、時価のある有価証券 *2. OCI除き

(ご参考)事業部門別の損益概要 (1)

営業部門の実質業務純益は、コーポレート部門が牽引し増益

(億円)		2018/3期 1-3Q	前年同期比
営業部門	業務粗利益 (1)	3,601	△19
	経費 (2)	△2,477	+27
	実質業務純益 (3)	1,126	+9
コンシューマー 事業	業務粗利益 (4)	1,645	△56
	経費 (5)	△1,299	+35
	実質業務純益 (6)	346	△21
コーポレート 事業	業務粗利益 (7)	1,955	+37
	経費 (8)	△1,178	△8
	実質業務純益 (9)	780	+30
市場部門・ その他	業務粗利益 (10)	557	△4
	経費 (11)	△71	△8
	実質業務純益 (12)	486	△12
合計	業務粗利益 (13)	4,159	△23
	経費 (14)	△2,549	+18
	実質業務純益 (15)	1,612	△3



管理会計における
計数の定義

1. グループ3銀行及び連結子会社の計数を計上
2. 市場部門の業務粗利益には、株式等関係損益の一部を含む
3. 「その他」には、経営管理部門の計数等を含む

(ご参考)事業部門別の損益概要 (2)

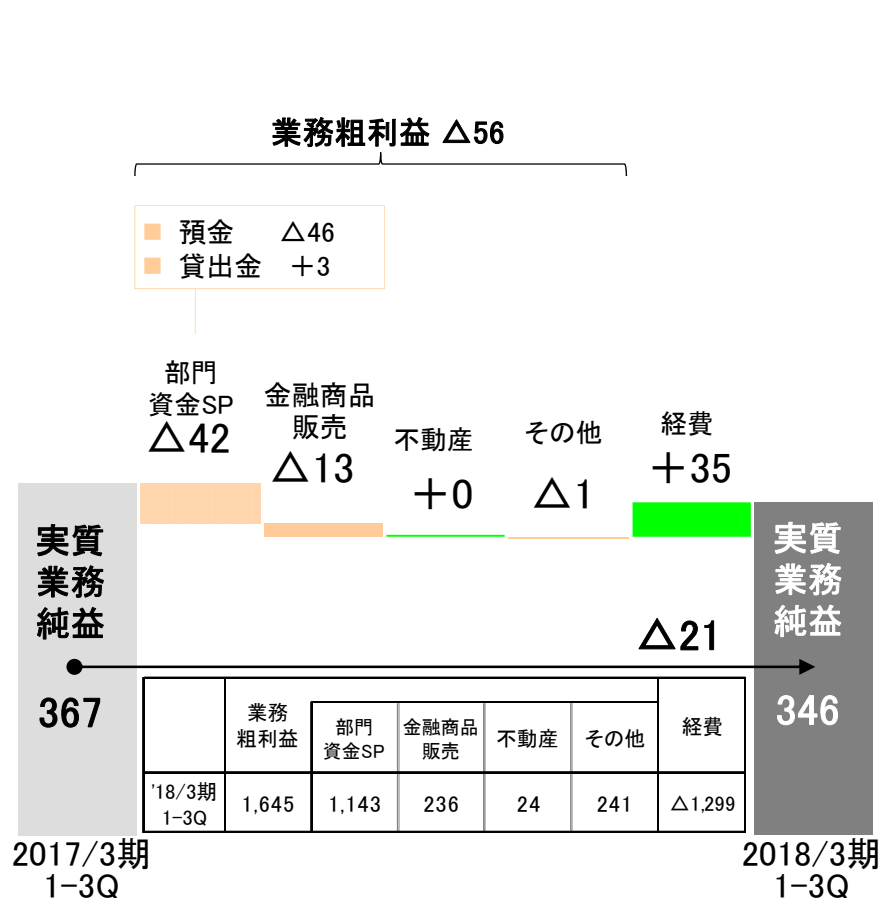
HD連結

コンシューマー部門

- 実質業務純益は前年同期比21億円の減益
 - 預金収益の減少を主因に減益、経費は改善

【変動要因】

(億円)

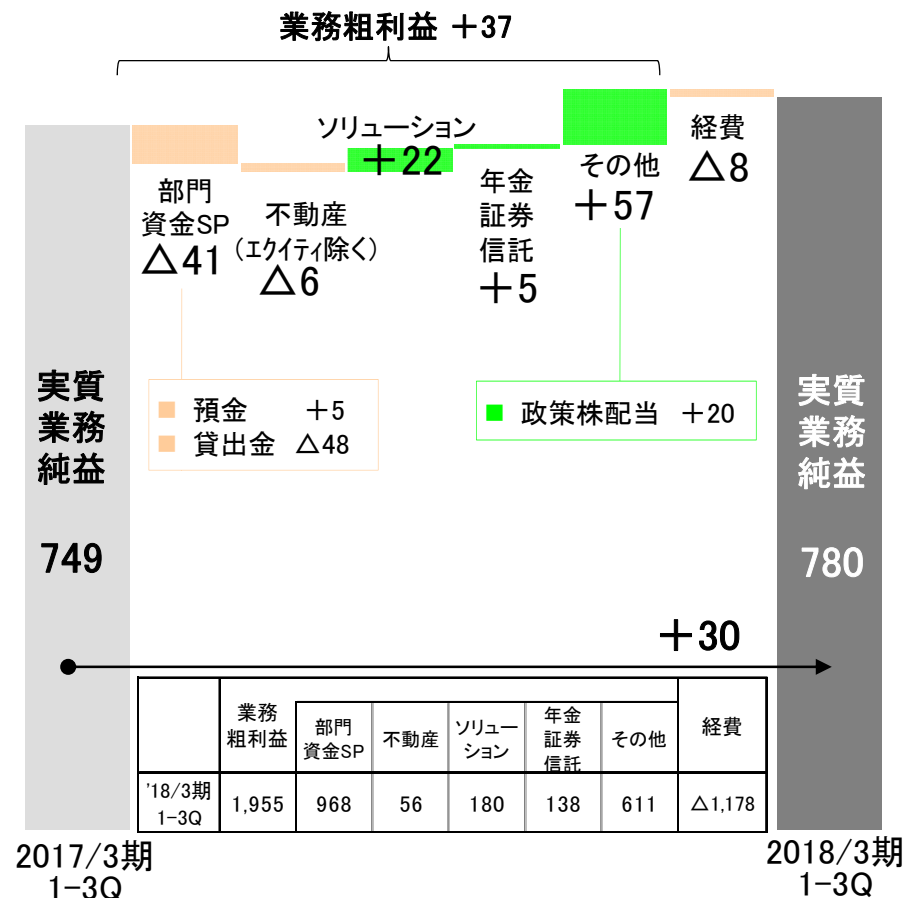


コーポレート部門

- 実質業務純益は前年同期比30億円の増益
 - 法人ソリューション収益、信託収益が堅調

【変動要因】

(億円)



本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

想いをつなぐ、未来を形に。 *Next Action* RESONA GROUP

